



利他の心

令和6年10月2日 10月全校朝会

学校で学習する目的の一つには、集団の中で生活し、集団の中で行動するという、社会の一員として生活するために学ぶことがあります。

修学旅行中、6年学年主任の先生がよく6年生に話していた言葉があります。それは、

「自由と自分勝手はちがう」

という言葉です。

自分一人だけでなく、集団の中で生活し、集団としてみんなと一緒に行動するときは、自分勝手に、自分のことだけ考えて、わがままな行動をしていたら、絶対にうまくいきません。

そこで大切なことが、「利他の心」です



利他の心

「利他」は、漢字でいうと「利」は「利益」の「利」、
「他」は「他人」の「他」です。

「利他」とは
自分のことより、
ほかの人のことを考えること

他人をよくしてあげよう
という、やさしい思いやりを
大切に考える

「利他」の心で判断し、
行動すると、「人のため」
という心なので

多くの人に協力してもらえる
いろいろな考え方ができ、
正しい判断・行動ができる

クラスという集団、学校という集団での生活は、これからみなさんが少しずつ大人になって、社会に出ていくために学んでいく場所です。

いろいろな人がいるこの社会をよりよく生きていくためには、自分だけのことを考えて行動するのではなく、まわりの人のことを考えて、思いやりにあふれた「利他の心」をもって行動することが大切です。

6月の全校朝会では、『陰徳』についてお話ししました。『陰徳』とは、見返りを求めることなく、まわりのため、誰かのために「こうすれば誰かが助かる」「この行動で誰かが喜ぶ」などの考えをもった行動のことです。その『陰徳』と『利他の心』の二つのことが東野小学校にいる一人一人に広がると、東野小学校のみんなが心豊かに、明るく、笑顔で学校生活を送ることができると思います。

